

# 教養科目

4年間を通して学ぶ教養科目は、映画をつくり映画について考えるときに必要な教養を、幅広く身につけるための科目群です。基幹以外の5つの群から興味のあるものを選んで、さまざまな分野についての知識を深めることができます。

## 履修のポイント

- ・基幹の「スタートアップ演習」と「人間総合研究」は必修科目です。他は選択科目です。
- ・教養科目は、5つの群からそれぞれ1科目、合計10単位以上を修得しなければなりません。
- ・10単位を超えた教養科目（α）と、4単位を超えた専門基礎科目（β）をあわせて38単位以上になるように履修してください。
- ・指定されている配当年次以外での履修はできません。
- ・教養科目は、「映画領域」（◇印）と「映画隣接領域」に分類されています。履修の際の目安にしてください。

◇印：映画領域 無印：映画隣接領域 丸数字：単位 茶色は「映画ソムリエ」科目

科目群	1年		2年		3・4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基幹	スタートアップ演習④ 人間総合研究⑧					
映画史	◇日本映画史Ⅰ② ◇映画史概論②	◇日本映画史Ⅰ② ◇映画史概論② ◇日本映画史Ⅱ②	◇ドキュメンタリー映画史② ◇日本映画史Ⅰ② (2019年度のみ) ◇映画史概論② (2019年度のみ)			
	◇映画史基礎②（2年間かけて修得する科目。1年次は仮登録、2年次に履修登録を行う。）					
映画文化	表象文化論Ⅰ②	◇テーマ研究Ⅰ② サブ・カルチャー論②	日本文化論②	◇テーマ研究Ⅱ② 表象文化論Ⅱ②	◇テーマ研究Ⅲ② ◇アニメーション・特撮文化論②	◇テーマ研究Ⅳ②
文学・芸術	物語論② 写真論②	◇映画と文学②	美術史Ⅰ② ファッション文化史②	◇映画と演劇② 文学② 美術史Ⅱ②	◇映画と音楽② 英米文学② 演劇史Ⅰ② 哲学②	演劇史Ⅱ②
歴史・社会科学	◇映画で学ぶ歴史と社会Ⅰ② 心の健康②	◇映画で学ぶ歴史と社会Ⅱ②	◇映画流通論Ⅰ② 社会学②	◇映画流通論Ⅱ② デジタル映像技術概論②	◇映画で学ぶ歴史と社会Ⅲ② 映画と法②	◇映画で学ぶ歴史と社会Ⅳ② ◇映画で学ぶ歴史と社会Ⅴ②
コミュニケーション	日本語Ⅰ②（留学生のみ） 英語Ⅰ② 中国語②	文章作法②	英語Ⅰ②（2019年度のみ） 中国語②（2019年度のみ）	日本語Ⅱ②（留学生のみ） 英語Ⅱ② 韓国語②		キャリア・サポート②（3年のみ） ◇こども映画教育演習④ 【夏期集中】
	◇国際合同制作④【通年】（隔年開講）		◇国際合同制作④【通年】（隔年開講）		◇国際合同制作④【通年】（隔年開講） インターンシップ②【通年】	

# 基礎科目

基礎科目は、1年次から2年次前期に配当されています。映画づくりに必要な基礎知識と技術を修得するための科目です。

## 系・コースに分かれるまでのながれ

1年次 前期	<b>大学での学びへの導入「スタートアップ演習」(教養科目)</b> 映画を学ぶ上で必要な心構えと基礎的な力を、複数の教員による講義とワークショップを通して身につけます。
	<b>脚本の基礎を学ぶ「脚本基礎演習」</b> 脚本の書き方の基本を修得します。
	<b>創ることの基本を学びチームワークを磨く「人間総合研究」(教養科目)</b> 本学の看板授業。仲間とともに作品をつくり上げていく力を実践的に身につけます。



1年次 後期	<b>映画制作の基礎を学ぶ「映画制作基礎演習」</b> デジタルでの映画制作を学びます。映画作りの全工程を一通り体験し、系・コース選択への道筋をつけます。
	<b>本格的な脚本の書き方を学ぶ「長編シナリオ演習Ⅰ」</b> 劇場映画の長さのシナリオを書くための実践的な方法を修得します。



**ここで系またはコースを選択します。**

1年次 春休み	春休みに200枚のシナリオを各自で執筆します。
------------	-------------------------



**2年次からは系またはコースに分かれて学びます。**

2年次 前期	<b>脚本を書くために不可欠な“直し”の技術を修得する「長編シナリオ演習Ⅱ」</b> 自分の書いたシナリオを丁寧に直していくことで、よりよいものに仕上げっていきます。
-----------	--

## 履修のポイント

・基礎科目はすべて必修科目です。必ず修得しなければなりません。

丸数字：単位

	1年		2年
	前期	後期	前期
基礎科目	脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②

## 専門基礎科目

専門基礎科目は、2年次から3年次に配当されています(「演劇WS」のみ1年次)。1年次に修得した基礎的な知識と、2年次から系・コースに進んで学ぶ専門的な知識をつなぎ、段階的にそれぞれの専門性を補完するための科目です。授業はWS(ワークショップ)形式で行われ、体験をととして知識や技術を修得できるようになっています。

## 履修のポイント

- ・専門基礎科目はすべて選択必修科目です。2科目、合計4単位以上を修得しなければなりません。4単位以上は選択科目として扱われます。
- ・4単位を超えた専門基礎科目(β)と、10単位を超えた教養科目(α)をあわせて38単位以上になるように履修してください。
- ・指定されている配当年次以外での履修はできません。
- ・すべての系・コースの学生が履修できます。

丸数字：単位 茶色は「映画ソムリエ」科目

	2年		3年	
	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目	演劇WS②【春期集中】 ※1年後期 ドキュメンタリーWS② デジタル技術WS② 映画プロデュースWS② フィルム・アーカイヴWS②	演出論Ⅰ② 録音WS② 映画美術演習Ⅰ②【夏期集中】 映画美術演習Ⅱ②【春期集中】	脚本WS② 編集WS② 特殊撮影・VFX 基礎②	演出論Ⅱ② 特殊撮影・VFX WS② 上映企画WS②

# 専門科目

専門科目は、2年次から4年次に配当されています。系・コースに分かれて専門性を深めていくための科目です。4年次には、身につけた知識と技術を総動員して、学修の集大成としての卒業制作に取り組みます。

## 履修のポイント

・専門科目はすべて選択必修科目です。系・コースごとに履修すべき科目が決まっています。他の系やコースの科目の履修はできません。

丸数字：単位

		2年			3年		4年	
		前期	後期		前期	後期	前期・後期	
演出系		演出基礎演習Ⅰ⑧ (ドキュメンタリー)	演出基礎演習Ⅱ⑧ (ワンシーン)	コース 選 択	ドキュメンタリーコース	ドキュメンタリー専門演習Ⅰ⑩	ドキュメンタリー専門演習Ⅱ⑧	卒業制作⑫ (ドキュメンタリー)
	身体表現・俳優コース				身体表現専門演習⑧		卒業制作⑫ (公演)	
	演出コース				演出専門演習⑧ (3分エチュード)			
技術系	撮影照明コース	撮影照明基礎演習⑧	撮影照明専門演習⑧	▶	撮影照明コース		合同制作⑩	卒業制作⑫ (ドラマ)
	録音コース	録音基礎演習⑧	録音専門演習⑧	▶	録音コース	技術合同演習⑧		
	編集コース	編集基礎演習⑧	編集専門演習⑧	▶	編集コース			
文章系	雑誌制作⑧		インプロビゼーション演習⑧	コース 選 択	脚本コース	脚本専門演習Ⅰ⑩ (短編映画制作)	脚本専門演習Ⅱ⑧ (脚色)	卒業制作⑫ (シナリオ)
					文芸コース	文芸専門演習Ⅰ⑩ (読解・ライティングWS)	文芸専門演習Ⅱ⑧ (批評)	卒業制作⑫ (文芸)

# 履修証明プログラム

履修証明プログラムとは、本学の学士課程（卒業要件を満たすと学士（映画学）が授与されます）とは別に、特別に設けられた課程です。体系的な知識・技術等の習得のために、一定の教育計画の下に編成された教育プログラムです。目的・内容に応じて総時間数120時間以上で設定されています。プログラムの修了者には履修証明書が交付されます。本学には、「映画ソムリエ」プログラムがあります。

## 〈映画ソムリエ〉 お酒の世界にソムリエがいるように、映画の"目利き"を目指す！

日本唯一の映画単科大学でなければ用意できない格別なプログラムです。映画の持つ力。それは人々の日々の暮らしに活力と希望を与え、実生活では稀にしか訪れない「人生の真実に触れる喜び」を提供します。「映画ソムリエ」プログラムは、この映画の力を見極め、社会と個人からの多様な要望に応える能力を磨きます。4年間を通して、映画の過去と今日、そして未来まで多視点から俯瞰分析し、映画と社会、映画と人々を繋ぎ、映画によって人生を語る力を修得します。映画ソムリエは、映画によって人生を熟成させる者の呼称です。

1年次	<b>映画についての基礎的な知識を修得し、映画史への理解を深める</b> 「日本映画史Ⅰ」、「映画史概論」で映画の歴史を体系的に学びます。「映画史基礎」では、2年間かけて映画史上重要な50作品を鑑賞し、レポートを作成することで、学んだ映画史に肉付けをします。
2年次	<b>修得した映画の知識を活用するための方法を身につける</b> 「映画流通論Ⅰ・Ⅱ」では、映画の企画から完成した作品を観客に届けるまでの流れ（企画・製作・配給・宣伝・興行・映画祭・批評）を学び、それぞれの仕事についての理解を深めます。「映画プロデュースWS」では、プロデューサーの素養を身につけた上で4週間のワークショップを行い、映画作りの根本である企画開発と企画書の作成を実践します。
3年次	<b>これまで学んだことを応用して上映プログラムを立案する</b> これまで修得した知識を総動員して、上映プログラムを立案し、自分たちで映画祭をつくります。また「映画と法」では、映画の製作から上映までの過程に関わる法的な知識を学びます。
3-4年次	<b>実際に劇場で映画祭を行う</b> 「上映企画WS」の最終到達地点である映画祭の実践です。

### 履修のポイント

- ・「映画ソムリエ」プログラムの履修証明書を得るためには、以下のすべての科目を修得しなければなりません。
- ・「上映企画WS」には履修条件があります。\*印の科目を修得していないと「上映企画WS」を履修することはできません。
- ・「映画祭」以外は正規科目で、卒業要件単位（124単位）に含まれます。ただし、2019年度の2年生は「映画史基礎」も卒業要件単位外となります。2年生は「映画史基礎」の履修登録はできませんが、同じ課題をこなすことで、「映画ソムリエ」プログラムの履修とみなされます。

	対応する科目名等	対応する科目区分	単位	授業形態	コマ数	配当年次・学期
必修	日本映画史Ⅰ*	教養科目	2	講義	15	1年 前・後期
	映画史概論	教養科目	2	講義	15	1年 前・後期
	映画史基礎*	教養科目	2	演習	15	1-2年 通年
	映画流通論Ⅰ	教養科目	2	講義	15	2年 前期
	映画流通論Ⅱ*	教養科目	2	講義	15	2年 後期
	映画プロデュースWS*	専門基礎科目	2	演習	15	2年 前期
	映画と法	教養科目	2	講義	15	3年 前期
	上映企画WS	専門基礎科目	2	演習	15	3年 後期
	映画祭	(授業外)	—	—	—	3-4年
	単位計		16		120	

# 演出コース

映画表現の本質を理解し、作品世界に対する多様な視点と観察力を身につけます。共同作業の中で映画演出の方法を体得し、コミュニケーション能力の向上を図ります。

## 系・コースに進んでからの学びのながれ

**「演出系」として合同で授業を行います。**

2年次前期	<b>人間と映画の多様性についての理解を深める「演出基礎演習Ⅰ(ドキュメンタリー)」</b> 短編ドキュメンタリーの制作を通して、映画制作フローの多様性を学びます。取材対象者との交流を深めながら自らの人間観を拡げ、現実を生きる人間を活写することの難しさと、人間に相對することの面白さを学びます。
2年次後期	<b>脚本と演出についての理解を深める「演出基礎演習Ⅱ(ワンシーン)」</b> 数行の脚本をテキストに、そこに書かれている行為、出来事、人物を映像化していきます。ロケハン、美術準備、演技指導、カット割り、編集という工程を繰り返すことで、シナリオの読解力と演出の基本を学びます。
<b>ここで、「演出」・「身体表現・俳優」・「ドキュメンタリー」のコース分けを行います。</b>	
3年次前期	<b>一人1本、3分間の作品を作る「演出専門演習(3分エチュード)」</b> 全員が一人1本、3分間の作品を企画、脚本執筆、監督します。映画演出の方法と映画のリテラシーを実践の中で修得します。
3年次後期	<b>15分の短編映画を作る「合同制作」</b> 脚本選びからキャスティング、ロケハンなどの制作準備を経て、身体表現・俳優、撮影照明、録音、編集コースと打合せを重ねながら、15分の短編映画を作ります。各コースに分かれて学んできた学生が一本の台本の元に集まり、各部の主張の中で一つの作品を作り上げることによって、卒業制作に向けたスキルの向上を図ります。
4年次	<b>4年間の集大成「卒業制作(ドラマ)」</b> これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

## 履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	基幹	スタートアップ演習④								
		人間総合研究⑧									
計26単位		基礎	脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②						
選択必修	教養	専門			演出基礎演習Ⅰ⑧ (ドキュメンタリー)	演出基礎演習Ⅱ⑧ (ワンシーン)	演出専門演習⑧ (3分エチュード)	合同制作⑩	卒業制作(ドラマ)⑫【通年】		
		専門基礎			ドキュメンタリーWS②	演出論Ⅰ②					
選択	教養	専門基礎 3科目めからは選択 科目に算入			デジタル技術WS② 映画プロデュースWS②	映画美術演習Ⅰ②	脚本WS② 編集WS②	演出論Ⅱ②			
		映画史	日本映画史Ⅰ②	映画史概論②	ドキュメンタリー映画史②						
				日本映画史Ⅱ②							
					映画史基礎②(単位付与は2年後期)						
		映画文化			テーマ研究Ⅰ②				テーマ研究Ⅳ②		
			文学・芸術	物語論②			映画と演劇②			映画と音楽②	
歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会Ⅰ②		映画で学ぶ歴史と社会Ⅱ②	映画流通論Ⅰ②	映画流通論Ⅱ②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅲ②	映画と法②		映画で学ぶ歴史と社会Ⅳ②		
コミュニケーション						キャリア・サポート②					
<b>合計124単位</b>			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

# 身体表現・俳優コース

映画の作り方を学ばなかに、舞台の上やカメラの前に立って自然に動くための技術を身につけます。肉体訓練を通じて身体感覚を発見し、演技を通じて他者との関係を意識し、観客の前で表現することを目指します。

## 系・コースに進んでからの学びのながれ

**「演出系」として合同で授業を行います。**

2年次前期	<b>人間と映画の多様性についての理解を深める「演出基礎演習Ⅰ〈ドキュメンタリー〉」</b> 短編ドキュメンタリーの制作を通して、映画制作フローの多様性を学びます。取材対象者との交流を深めながら自らの人間観を拡げ、現実を生きる人間を活写することの難しさと、人間に相對することの面白さを学びます。
2年次後期	<b>脚本と演出についての理解を深める「演出基礎演習Ⅱ〈ワンシーン〉」</b> 数行の脚本をテキストに、そこに書かれている行為、出来事、人物を映像化していきます。ロケハン、美術準備、演技指導、カット割り、編集という工程を繰り返すことで、シナリオの読解力と演出の基本を学びます。
<b>ここで、「演出」・「身体表現・俳優」・「ドキュメンタリー」のコース分けを行います。</b>	
3年次前期	<b>俳優としての基本態度を学びながら、演劇作品を作る「身体表現専門演習」</b> 自己の身体を意識し、コントロールする（鍛練）、他者によって自己の心身が変化（対話）、身体を通じて内面を他者に伝える方法を模索する（表現）、これらをワークショップをおして学びます。自らの身体的個性を発見することを目標に、多様な演劇体験をしながら舞台作品をつくります。
3年次後期	<b>15分の短編映画を作る「合同制作」</b> 脚本選びからキャスティング、ロケハンなどの制作準備を経て、演出、撮影照明、録音、編集コースと打合せを重ねながら、15分の短編映画を作ります。各コースに分かれて学んできた学生が一本の台本の元に集まり、各部の主張の中で一つの作品を作り上げることによって、卒業制作に向けたスキルの向上を図ります。
4年次	<b>4年間の集大成「卒業制作〈公演〉」</b> これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、卒業公演に取り組みます。

## 履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	基幹	スタートアップ演習④								
		基礎	人間総合研究⑧								
計26単位			脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②						
選択必修	教養	専門			演出基礎演習Ⅰ⑥ 〈ドキュメンタリー〉	演出基礎演習Ⅱ⑥ 〈ワンシーン〉	身体表現専門演習⑥	合同制作⑩	卒業制作〈公演〉⑫【通年】		
		専門基礎		演劇WS②		演出論Ⅰ②					
計50単位											
選択	教養	専門基礎			ドキュメンタリーWS②	映画美術演習Ⅰ②	脚本WS②	演出論Ⅱ②			
		3科目めからは選択科目に算入			映画プロデュースWS②						
		映画史	日本映画史Ⅰ②	映画史概論②	ドキュメンタリー映画史②						
				日本映画史Ⅱ②							
		映画史基礎②（単位付与は2年後期）									
		映画文化	表象文化論Ⅰ②	テーマ研究Ⅰ②			テーマ研究Ⅲ②		アニメーション・特撮文化論②	テーマ研究Ⅳ②	
文学・芸術			ファッション文化史②	映画と演劇②	演劇史Ⅰ②	演劇史Ⅱ②					
歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会Ⅰ②		映画流通論Ⅰ②	映画流通論Ⅱ②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅲ②						
コミュニケーション						キャリア・サポート②					
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

# ドキュメンタリーコース

ノンフィクションもまたフィクションであることを理解し、映像と現実の不一致を確かめながら、メディアのあり方やジャーナリズムの役割について探究します。カメラを通して人間と向き合うとはどういうことか、映像によるコミュニケーションの多様性を学びます。

## 系・コースに進んでからの学びのながれ

**「演出系」として合同で授業を行います。**

2年次前期	<b>人間と映画の多様性についての理解を深める「演出基礎演習Ⅰ〈ドキュメンタリー〉」</b> 短編ドキュメンタリーの制作を通して、映画制作フローの多様性を学びます。取材対象者との交流を深めながら自らの人間観を拡げ、現実を生きる人間を活写することの難しさと、人間に相對することの面白さを学びます。
2年次後期	<b>脚本と演出についての理解を深める「演出基礎演習Ⅱ〈ワンシーン〉」</b> 数行の脚本をテキストに、そこに書かれている行為、出来事、人物を映像化していきます。ロケハン、美術準備、演技指導、カット割り、編集という工程を繰り返すことで、シナリオの読解力と演出の基本を学びます。
<b>ここで、「演出」・「身体表現・俳優」・「ドキュメンタリー」のコース分けを行います。</b>	
3年次前期	<b>地方合宿で実践的な技術を身につける「ドキュメンタリー専門演習Ⅰ」</b> 地方合宿で未知の場所、未知の人々を対象とした取材を少人数のグループで行います。取材・構成・編集のワークフローを理解し、実践的にインタビューワークを修得します。
3年次後期	<b>企画を立てる力を身につけ、ドキュメンタリーの可能性を探る「ドキュメンタリー専門演習Ⅱ」</b> 企画のあり方とドキュメンタリーの多様性について考えます。自分たちで企画を立案し、取材対象者や出来事へのアプローチ方法、主題の広がりについて議論を繰り返して作品の可能性を検証します。卒業制作に向けて、ドキュメンタリー制作の過程とスタッフの役割、主題と手法についての理解を深めます。
4年次	<b>4年間の集大成「卒業制作(ドキュメンタリー)」</b> これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

## 履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修	教養	基幹	スタートアップ演習④							
		基礎	人間総合研究⑥							
計26単位			脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②					
選択必修	教養	専門			演出基礎演習Ⅰ⑥ 〈ドキュメンタリー〉	演出基礎演習Ⅱ⑥ 〈ワンシーン〉	ドキュメンタリー 専門演習Ⅰ⑩	ドキュメンタリー 専門演習Ⅱ⑥	卒業制作(ドキュメンタリー)⑩【通年】	
		専門基礎			ドキュメンタリーWS②	演出論Ⅰ②				
選択	教養	専門基礎			デジタル技術WS②	録音WS②	編集WS②			
		3科目めからは選択科目に算入			映画プロデュースWS②	映画美術演習Ⅰ②				
		映画史	日本映画史Ⅰ②	映画史概論②	ドキュメンタリー-映画史②					
			映画史基礎② (単位付与は2年後期)							
		映画文化	表象文化論Ⅰ②	テーマ研究Ⅰ②						テーマ研究Ⅳ②
計48単位	文学・芸術								哲学②	
		歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会Ⅰ②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅱ②	映画流通論Ⅰ②	デジタル映像技術概論②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅲ②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅳ②		
	コミュニケーション		文章作法②				映画と法②	キャリア・サポート② こども映画教育演習④		
<b>合計124単位</b>			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位

# 撮影照明コース

映像の歴史と技術を知り、ドラマを映像というかたちで具現化する方法を探究します。脚本の理解、的確な照明やフレーミング、カメラワークなどの映像表現技術を身につけます。

## コースに進んでからの学びのながれ

2年次前期	<b>撮影・照明の基礎知識を身につける「撮影照明基礎演習」</b> 撮影・照明についての基礎知識（露出・照明比・色温度の特性やフレーム感覚）を、実際の機材を使ってワークショップ形式で学びます。また、録音、編集コースと合同で短編作品を制作することで技術パートの連携を理解します。
2年次後期	<b>デジタルシネマ技術の特性を理解する「撮影照明専門演習」</b> 16mmフィルムとデジタルによる短編映画の制作をとおして、デジタルシネマ技術への理解と、撮影現場のスムーズな運営について学び、撮影照明技術を高めめます。
3年次前期	<b>撮影と照明についての理解を深め、実践的なスキルを身につける「技術合同演習」</b> これまで修得してきた基礎知識を応用して、より実践的な機材の扱いと撮影照明技術を修得します。録音、編集コースと合同で短編作品を制作することで技術パートの連携を深めるとともに、プロの演出家とどう対峙して作品と向き合うかを学びます。
3年次後期	<b>15分の短編映画を作る「合同制作」</b> 演出、身体表現・俳優、録音、編集コースと合同で15分の短編映画制作を行います。多くのスタッフ、パートと協力して作品を作ることで、コミュニケーション能力と多角的視点を身につけます。また、CM制作などを行い、卒業制作に向けて撮影照明の技術を高めめます。
4年次	<b>4年間の集大成「卒業制作(ドラマ)」</b> これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

## 履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

		1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	スタートアップ演習④								
	基幹	人間総合研究⑥								
計26単位	基礎	脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②						
選択必修	専門			撮影照明基礎演習⑧	撮影照明専門演習⑧	技術合同演習⑧	合同制作⑩	卒業制作(ドラマ)⑫〔通年〕		
	専門基礎			デジタル技術WS②	演出論Ⅰ②					
選択	専門基礎			ドキュメンタリーWS②	映画美術演習Ⅰ②	編集WS②	特殊撮影・VFXWS②			
	3科目めからは選択科目に算入	映画史	映画史概論②	日本映画史Ⅰ②	ドキュメンタリー-映画史②					
				日本映画史Ⅱ②						
			映画史基礎② (単位付与は2年後期)							
	教養	映画文化		テーマ研究Ⅰ②		表象文化論Ⅱ②	アニメーション・特撮文化論②	テーマ研究Ⅳ②	テーマ研究Ⅲ②	
		文学・芸術	写真論②							
歴史・社会科学		映画で学ぶ歴史と社会Ⅰ②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅱ②	映画流通論Ⅰ②	デジタル映像技術概論②	映画と法②			映画で学ぶ歴史と社会Ⅴ②	
	コミュニケーション						キャリア・サポート②			
<b>合計124単位</b>		計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

# 録音コース

映画を聴覚の側面から捉えなおし、音による表現の技術と方法を探求します。撮影現場での録音からスタジオでの整音、加工、最終ミックスまで、映画の音をつくるすべてのプロセスを実践的に学びます。

## コースに進んでからの学びのながれ

2年次前期	<b>映画における音の役割を理解する「録音基礎演習」</b> 録音とは何か、ミキシングとレコーディング、アフレコの技術を学び、現場からポストプロダクションまで関わる録音技術者の仕事の流れを理解します。また、撮影照明、編集コースと合同で短編作品を制作することで技術パートの連携を理解します。
2年次後期	<b>高度な技術の修得を目指す「録音専門演習」</b> スタジオワークを学び、仕上げ作業の流れを理解するとともに、効果音やフォーリーへの造詣を深めます。プレイバック撮影、サラウンドなど、高度な技術課題について学びます。また、音声のみでの作品（音声ドラマ）制作も行います。
3年次前期	<b>録音についての理解を深め、実践的なスキルを身につける「技術合同演習」</b> これまで修得してきた基礎知識を応用して、より実践的な機材の扱いと録音技術を修得します。撮影照明、編集コースと合同で短編作品を制作することで技術パートの連携を深めるとともに、プロの演出家とどう相対し作品と向き合うかを学びます。
3年次後期	<b>15分の短編映画を作る「合同制作」</b> 演出、身体表現・俳優、撮影照明、編集コースと合同で15分の短編映画制作を行います。多くのスタッフ、パートと協力して作品を作ることで、コミュニケーション能力と多角的視点を身につけます。ワイヤレスマイクを使用したマルチトラック録音の方法、デジタル化された映像・音声・編集データの取り扱いについて理解を深め、卒業制作に向けて録音の技術を高めます。
4年次	<b>4年間の集大成「卒業制作(ドラマ)」</b> これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

## 履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	基幹	スタートアップ演習④								
		人間総合研究⑥									
計26単位		基礎	脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②						
選択必修	教養	専門			録音基礎演習⑧	録音専門演習⑧	技術合同演習⑧	合同制作⑩	卒業制作(ドラマ)⑫〔1通年〕		
		専門基礎			デジタル技術WS②	録音WS②					
選択	教養	専門基礎			ドキュメンタリーWS②	演出論Ⅰ②	編集WS②				
		3科目めからは選択科目に算入			映画プロデュースWS②	映画美術演習Ⅰ②	特殊撮影・VFX基礎②				
		映画史	映画史概論②	日本映画史Ⅰ②	ドキュメンタリー-映画史②						
				日本映画史Ⅱ②							
		映画史基礎② (単位付与は2年後期)									
		映画文化	表象文化論Ⅰ②	テーマ研究Ⅰ②	日本文化論②			テーマ研究Ⅳ②	テーマ研究Ⅲ②		
文学・芸術											
歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会Ⅰ②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅱ②			デジタル映像技術概論②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅲ②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅳ②		映画で学ぶ歴史と社会Ⅴ②		
	コミュニケーション						キャリア・サポート②				
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

# 編集コース

映像をモニター（編集）することによって新たな意味を生み出し、ドラマを語る方法を探究します。撮影された素材を新たに組み立てなおし、より深いドラマの解釈を提示するための技術を学びます。

## コースに進んでからの学びのながれ

2年次前期	<b>映画における編集の重要性を理解する「編集基礎演習」</b> 編集の発生や成り立ちについて学び、道具や機材の取り扱い方などの基礎知識を修得します。実験的にモニターすることによって映画における編集の重要性を認識します。また、撮影照明、録音コースと合同で短編作品を制作することで技術パートの連携を理解します。
2年次後期	<b>高度な技術の修得を目指す「編集専門演習」</b> 映像作成ソフトの使い方、フィルム編集、スクリプトの書き方など、高度な技術課題について学びます。30分程度のドラマ素材を用いた編集の実践、短編映画の制作を通して、限られた素材の中から選び出す能力と構成力を高めます。
3年次前期	<b>編集についての理解を深め、実践的なスキルを身につける「技術合同演習」</b> これまで修得してきた基礎知識を応用して、より実践的な機材の扱いと編集技術を修得します。撮影照明、録音コースと合同で短編作品を制作することで技術パートの連携を深めるとともに、プロの演出家とどう相対し作品と向き合うかを学びます。
3年次後期	<b>15分の短編映画を作る「合同制作」</b> 演出、身体表現・俳優、撮影照明、録音コースと合同で15分の短編映画制作を行います。多くのスタッフ、パートと協力して作品を作ることで、コミュニケーション能力と多角的視点を身につけます。予告編の制作などを通して、卒業制作に向けて編集の技術を高めます。
4年次	<b>4年間の集大成「卒業制作(ドラマ)」</b> これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

## 履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	基幹	スタートアップ演習④								
		基礎	人間総合研究⑧								
計26単位			脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②						
選択必修	教養	専門			編集基礎演習⑥	編集専門演習⑧	技術合同演習⑧	合同制作⑩	卒業制作(ドラマ)⑫【通年】		
		専門基礎			デジタル技術WS②		編集WS②				
選択	教養	専門基礎			ドキュメンタリーWS②	演出論Ⅰ②	特殊撮影・VFX基礎②	特殊撮影・VFXWS②			
		映画史	3科目めからは選択科目に算入			映画プロデュースWS②	映画美術演習Ⅰ②				
			映画史概論②	日本映画史Ⅰ②	ドキュメンタリー映画史②						
				日本映画史Ⅱ②							
		映画史基礎② (単位付与は2年後期)									
		表象文化論Ⅰ②	テーマ研究Ⅰ②		表象文化論Ⅱ②	アニメーション・特撮文化論②	テーマ研究Ⅳ②				
文学・芸術					映画と音楽②						
歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会Ⅰ②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅱ②	映画流通論Ⅰ②	デジタル映像技術概論②				映画と法②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅴ②		
コミュニケーション							キャリア・サポート②				
<b>合計124単位</b>			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

# 脚本コース

映画作りの要となる「脚本」を軸に、ことばと身体演技の関係とシナリオ作法、ドラマの本質と演出の技術についての理解を深め、多様な映画表現の可能性を探究します。

## 系・コースに進んでからの学びのながれ

**「文章系」として合同で授業を行います。**

2年次前期	<b>活字出版の基本を身につける「雑誌制作」</b> 機関誌『日本映画大学だ！』を制作することで、企画、編集、原稿執筆からデザイナー・印刷所とのやりとりまで、紙媒体が出版されるまでの一連の制作フローを学びます。また、活字として表現されることの責任を理解します。
2年次後期	<b>あらすじをもとに即興で演じることで、台詞やドラマの発生を主観で体験する「インプロビゼーション演習」</b> 身体・心・頭のすべてを使って脚本を書くための基礎訓練です。台詞がない状態で人物の関係とあらすじ（プロット）だけを頼りにインプロビゼーション（即興）でシーンを作り、撮影し、脚本化します。それを書き直しなが再び撮影します。頭で書いた物語と、映像の中で生きている人物を描くことの差異を体験的に理解します。
▼ <b>ここで、「脚本」・「文芸」のコース分けを行います。</b>	
3年次前期	<b>30分の短編映画を作る「脚本専門演習Ⅰ〈短編映画制作〉」</b> 脚本コースだけで全パートを担当し、短編映画を制作します。頭で書いたものを現場で立体化する経験を通して、シナリオが自分語りではなく、他者との関係性の中で存在することを学びます。
3年次後期	<b>原作小説を脚色して長編シナリオを書く「脚本専門演習Ⅱ〈脚色〉」</b> 原作を元に長編シナリオを執筆します。小説とシナリオの違いを知り、映画表現とは何かを学びます。専門的な技術を修得すると同時に長編を書く持続力と体力を養います。
4年次	<b>4年間の集大成「卒業制作(シナリオ)」</b> これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、劇場用映画（250枚）のシナリオを執筆します。また、TVドラマのシナリオ（120枚）執筆にも取り組み、外部のコンクールに挑みます。完成したシナリオは「卒業シナリオ集」にまとめます。

## 履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	基幹	スタートアップ演習④								
		基礎	人間総合研究⑧								
計26単位			脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②						
選択必修	教養	専門			雑誌制作⑥	インプロビゼーション演習⑥	脚本専門演習Ⅰ⑩ 〈短編映画制作〉	脚本専門演習Ⅱ⑧ 〈脚色〉	卒業制作(シナリオ)⑫【通年】		
		専門基礎				演出論Ⅰ②	脚本WS②				
計50単位	教養	専門基礎									
		3科目めからは選択科目に算入			ドキュメンタリーWS②	映画美術演習Ⅰ②	編集WS②				
		映画史	映画史概論②	日本映画史Ⅰ②	ドキュメンタリー映画史②						
				日本映画史Ⅱ②							
			映画史基礎②（単位付与は2年後期）								
			サブ・カルチャー論②			表象文化論Ⅱ②		テーマ研究Ⅳ②			
文学・芸術	物語論②	映画と文学②		文学②			英米文学②	演劇史Ⅱ②			
歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会Ⅰ②		映画流通論Ⅰ②		映画で学ぶ歴史と社会Ⅲ②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅳ②					
コミュニケーション						映画で学ぶ歴史と社会Ⅴ②					
							キャリア・サポート②				
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

# 文芸コース

評論や小説を書くために必要な知識と方法を身につけます。言語世界を構築していくとはどういうことかを理解し、言葉として成立させるための技術、文章を書く力と持続力を徹底的に鍛えます。

## 系・コースに進んでからの学びのながれ

**「文章系」として合同で授業を行います。**

2年次前期	<b>活字出版の基本を身につける「雑誌制作」</b> 機関誌『日本映画大学だ！』を制作することで、企画、編集、原稿執筆からデザイナー・印刷所とのやりとりまで、紙媒体が出版されるまでの一連の制作フローを学びます。また、活字として表現されることの責任を理解します。
2年次後期	<b>あらすじをもとに即興で演じることで、台詞やドラマの発生を主観で体験する「インプロビゼーション演習」</b> 身体・心・頭のすべてを使って脚本を書くための基礎訓練です。台詞がない状態で人物の関係とあらすじ（プロット）だけを頼りにインプロビゼーション（即興）でシーンを作り、撮影し、脚本化します。それを書き直しながら再び撮影します。頭で書いた物語と、映像の中で生きている人物を描くことの差異を体験的に理解します。
<b>ここで、「脚本」・「文芸」のコース分けを行います。</b>	
3年次前期	<b>自らの考えを適切に文章で表現するための技術を学ぶ「文芸専門演習Ⅰ〈読解・ライティングWS〉」</b> 他者に伝えたいことを伝えられる言葉で書くこと、また同時に他者の原稿の読み方を学び、相互に批評を加えながら繰り返し書く訓練をします。専門的な技術を修得すると同時に、文章を書く持続力と体力を養います。
3年次後期	<b>様々なジャンルの批評を読む力・書く力を身につける「文芸専門演習Ⅱ〈批評〉」</b> 映画批評、文芸批評、サブカルチャー批評の作品を取りあげ、それらが対象についていかに思考し、その思考を作品化しているかを学びます。問題意識と批評方法を発見・展開するための批評文の執筆、発表、議論を行い、読む力・書く力を高めます。
4年次	<b>4年間の集大成「卒業制作〈文芸〉」</b> これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、評論、小説などの執筆に取り組みます。また、外部の新人コンクールにも挑みます。完成した作品は「卒業文芸集」にまとめます。

## 履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

		1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	スタートアップ演習④								
	基幹	人間総合研究⑥								
計26単位	基礎	脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②						
選択必修	専門			雑誌制作⑥	インプロビゼーション演習⑥	文芸専門演習Ⅰ⑩ 〈読解・ライティングWS〉	文芸専門演習Ⅱ⑧ 〈批評〉	卒業制作〈文芸〉②〔通年〕		
	専門基礎			ドキュメンタリーWS②		脚本WS②				
選択	専門基礎			デジタル技術WS②	演出論Ⅰ②		上映企画WS②			
	3科目めからは選択科目に算入			映画プロデュースWS②	映画美術演習Ⅰ②					
	映画史	映画史概論②	日本映画史Ⅰ②	ドキュメンタリー映画史②						
		映画史基礎②（単位付与は2年後期）								
			サブ・カルチャー論②		表象文化論Ⅱ②	テーマ研究Ⅲ②				テーマ研究Ⅳ②
						アニメーション・特撮文化論②				
映画文化	文学・芸術	物語論②	映画と文学②		文学②			英米文学②		
	歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会Ⅰ②		映画流通論Ⅰ②			映画で学ぶ歴史と社会Ⅳ② 映画で学ぶ歴史と社会Ⅴ②			
コミュニケーション		文章作法②				キャリア・サポート②				
<b>合計124単位</b>		計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	